

令和5年度小学校英語教育研究会（芦北水俣支部）活動報告

記録者：江口 征史郎（津奈木町立津奈木小学校）

1 はじめに

芦北水俣支部では、昨年度に引き続き、葦北水俣郡市教科等研究会外国語・外国語活動部会と兼ねる形で活動を行っており、研究テーマに沿って年間3回の研修を実施した。

2 研究テーマ

「相手意識をもち、考えや気持ちを互いに楽しんで伝え合う子どもの育成」

3 研究の実際

第1回：令和5年5月9日 会場（芦北町立佐敷小学校）

- 1 役員選出
- 2 研究主題の決定
- 3 年間研究計画の立案

第2回：令和5年8月3日 会場（芦北町立大野小学校）

- 1 一学期の実践について報告
- 2 目指す授業のイメージについて（授業動画視聴）
- 3 単元の指導計画作成方法について
- 4 2学期に学習する単元の指導計画作成及び作成物についての発表
- 5 諸連絡・アンケート、閉会

第3回：令和6年1月26日 会場（芦北町立佐敷小学校）

- 1 佐敷小学校 英語教育研究推進校研究発表会への参加
- 2 研究協議
- 3 1年間の振り返り、まとめ

4 成果と課題

【成果】

- 第1回研修では、各学校からの授業実践上の課題を具体的に出し合い、共有することで、互いに学び合おうという姿勢が感じられた。課題に基づいた研究主題を、全員で協議して設定することができた。
- 第2回研修では、単元の指導計画を作成する作業をとおして、作成上のポイントや時間がかかる点などについて、実感を伴った理解につながった。また、モデルとなる授業動画を視聴することで、授業のイメージを持つことができた。
- 第3回研修では、授業参観を通して、単元の目標の設定や指導計画の作成方法、言語活動の在り方などについて、理解を深めることができた。

【課題】

- ・ 第2回の研修で作成した単元の指導計画を基に実践し、その成果と課題を共有し、次年度につなげていくための方法を工夫する必要がある。
- ・ 評価に関する内容も学びたいという意見があったため、今後可能な限り取り扱いたい。